



アレイを管理します

E-Series storage systems

NetApp
January 20, 2026

目次

アレイを管理します	1
vCenter向けSANtricity Storage Pluginでのストレージアレイの管理について	1
アレイの検出に関する考慮事項	1
ストレージアレイのステータス	2
プラグインインターフェイスとSystem Managerの比較	2
vCenter向けSANtricityストレージプラグインでのストレージアレイの検出	3
手順 1：検出するネットワークアドレスを入力します	4
手順 2：検出時に信頼されていない証明書を解決する	4
手順 3：パスワードを入力する	5
SANtricity Storage Plugin for vCenterでストレージアレイの名前を変更する	5
vCenter向けSANtricityストレージプラグインでのストレージアレイのパスワードの変更	6
vCenter向けSANtricity Storage Pluginでのストレージアレイの削除	6
vCenter向けSANtricityストレージプラグインからSystem Managerを起動	6

アレイを管理します

vCenter向けSANtricity Storage Pluginでのストレージアレイの管理について

アド/検出機能を使用して、vCenter向けStorageプラグインで管理対象のストレージアレイを検索および追加します。[管理]ページでは、これらの検出されたアレイの名前の変更、削除、および新しいパスワードの入力もできます。

アレイの検出に関する考慮事項

プラグインでストレージリソースを表示して管理するには、組織のネットワークで管理対象のストレージアレイを検出する必要があります。単一のアレイまたは複数のアレイを検出して追加できます。

複数のストレージアレイ

複数のアレイを検出する場合は、ネットワークIPアドレスの範囲を入力すると、その範囲の各IPアドレスへの接続が個別に試行されます。接続に成功したストレージアレイがプラグインに表示され、管理ドメインに追加できます。

単一のストレージアレイ

単一のアレイを検出する場合は、ストレージアレイのいずれかのコントローラのIPアドレスを1つ入力してから、そのアレイを管理ドメインに追加します。



プラグインは、コントローラに割り当てられた範囲内の単一のIPアドレスまたはIPアドレスのみを検出して表示します。これらのコントローラに割り当てられている代替コントローラまたはIPアドレスが、この1つのIPアドレスまたはIPアドレス範囲外の場合、プラグインはそれらを検出または表示しません。ただし、ストレージアレイを追加すると、関連付けられているすべてのIPアドレスが検出され、管理ビューに表示されます。

ユーザクレデンシャル

追加する各ストレージアレイの管理者パスワードを指定する必要があります。

証明書

検出プロセスでは、検出されたストレージアレイに信頼できるソースからの証明書があるかどうかが確認されます。システムは、ブラウザとの接続を確立するすべての接続に対して、2種類の証明書ベースの認証を使用します。

- 信頼された証明書--一方または両方のコントローラ証明書の有効期限が切れた場合、失効した場合、またはチェーン内に証明書がない場合は、認証局が提供する信頼された証明書を追加でインストールする必要があります。
- 自己署名証明書--アレイは自己署名証明書を使用することもできます署名済み証明書をインポートせずにアレイを検出しようとすると、プラグインに自己署名証明書を受け入れるための追加の手順が表示されます。自己署名証明書が信頼済みとしてマークされ、ストレージアレイがプラグインに追加されます。ストレージアレイへの接続を信頼しない場合は、ストレージアレイをプラグインに追加する前に* Cancel *を

選択し、ストレージアレイのセキュリティ証明書戦略を検証します。

ストレージアレイのステータス

vCenter向けストレージプラグインを開くと、各ストレージアレイとの通信が確立され、各ストレージアレイのステータスが表示されます。

Manage-All *ページでは、ストレージアレイのステータスおよびストレージアレイ接続のステータスを表示できます。

ステータス	を示します
最適	ストレージアレイが最適な状態です。証明書の問題はなく、パスワードが有効です。
パスワードが無効です	無効なストレージアレイパスワードが指定されました。
信頼できない証明書です	HTTPS証明書が自己署名証明書でインポートされていないか、CA署名証明書でルート証明書と中間CA証明書がインポートされていないため、ストレージアレイとの1つ以上の接続が信頼されていません。
要注意	ストレージアレイにユーザによる修正操作が必要な問題があります。
ロックダウン	ストレージアレイがロックダウン状態です。
不明です	ストレージアレイに一度も接続していません。この状況は、プラグインが起動中でまだストレージアレイに接続していない場合や、ストレージアレイがオフラインでプラグインの起動後に一度も接続されていない場合に発生することがあります。
オフラインです	プラグインは以前にストレージアレイに接続しましたが、現在はすべての接続が失われています。

プラグインインターフェイスとSystem Managerの比較

ストレージアレイの基本的な操作にはStorage Plugin for vCenterを使用できますが、プラグインで使用できないタスクを実行するためにSystem Managerの起動が必要になる場合があります。

System Managerは、ストレージアレイのコントローラに組み込まれたアプリケーションであり、イーサネット管理ポートを介してネットワークに接続されます。System Managerにはアレイベースのすべての機能が含まれています。

次の表は、プラグインインターフェイスとSystem Managerインターフェイスのどちらを使用できるかをストレージアレイの特定のタスクで判断する際に役立ちます。

機能	プラグインインターフェイス	System Managerインターフェイス
複数のストレージアレイのグループに対するバッチ処理	はい。	いいえ処理は1つのアレイに対して実行されます。

機能	プラグインインターフェイス	System Managerインターフェイス
SANtricity OSファームウェアのアップグレード	はい。 バッチ処理内の1つ以上のアレイ。	はい。 シングルアレイのみ。
1つのアレイから複数のアレイに設定をインポートします	はい。	いいえ
ホストとホストクラスタの管理（ボリュームの作成、割り当て、更新、削除）	はい。	はい。
プールとボリュームグループの管理（作成、更新、セキュリティの有効化、削除）	はい。	はい。
ボリュームの管理（作成、サイズ変更、更新、削除）	はい。	はい。
SSDキャッシュの管理（作成、更新、削除）	はい。	はい。
ミラーリングとSnapshotの管理	いいえ	はい。
ハードウェア管理（コントローラステータスの表示、ポート接続の設定、コントローラのオフライン化、ホットスペアの有効化、ドライブの消去、など）	いいえ	はい。
アラートの管理（Eメール、SNMP、syslog）	いいえ	はい。
セキュリティキーの管理	いいえ	はい。
コントローラの証明書管理	いいえ	はい。
コントローラのアクセス管理（LDAP、SAMLなど）	いいえ	はい。
AutoSupport 管理	いいえ	はい。

vCenter向けSANtricityストレージプラグインでのストレージアレイの検出

vCenter向けストレージプラグインでストレージリソースを表示および管理するには、ネットワーク内のアレイのIPアドレスを検出する必要があります。

作業を開始する前に

- アレイコントローラのネットワーク IP アドレス（またはアドレスの範囲）を確認しておく必要があります。
- ストレージアレイが正しくセットアップおよび設定されている必要があります。
- ストレージアレイのパスワードは、System Managerのアクセス管理タイルを使用して設定する必要があります。

このタスクについて

アレイの検出は複数の手順からなる手順です。

- 手順 1：検出するネットワークアドレスを入力します
- 手順 2：検出時に信頼されていない証明書を解決する
- 手順 3：パスワードを入力する

手順 1：検出するネットワークアドレスを入力します

ストレージアレイを検出する最初の手順として、ローカルサブネットワーク全体を検索するための単一のIPアドレスまたはIPアドレス範囲を入力します。追加/検出機能を使用すると、検出プロセスをガイドするウィザードが開きます。

手順

- [* Manage (管理)]ページで、【Add/Discover* (追加/検出*)】を選択します。
[Enter Network Address Range] ダイアログボックスが表示されます。
- 次のいずれかを実行します。
 - 1つのアレイを検出するには、* 単一のストレージアレイの検出 * オプションボタンを選択し、ストレージアレイのいずれかのコントローラの IP アドレスを入力します。
 - 複数のストレージアレイを検出するには、「ネットワーク範囲内のすべてのストレージアレイを検出」ラジオボタンを選択し、開始ネットワークアドレスと終了ネットワークアドレスを入力してローカルサブネットワーク全体を検索します。
- [検出の開始] をクリックします。

検出プロセスが開始されると、ストレージアレイが検出されるときにダイアログボックスに表示されます。検出プロセスが完了するまでに数分かかることがあります。



管理可能なアレイが検出されない場合は、ストレージアレイがネットワークに適切に接続されていて、割り当てられたアドレスが範囲内にあることを確認してください。[新規検出パラメータ*] をクリックして、[追加 / 検出] ページに戻ります。

- 管理ドメインに追加するストレージアレイの横にあるチェックボックスをオンにします。
- 管理ドメインに追加する各アレイについて、クレデンシャルのチェックが実行されます。信頼されていない証明書に関する問題の解決が必要になる場合があります。
- 「* 次へ *」をクリックして、ウィザードの次の手順に進みます。
- ストレージアレイに有効な証明書がある場合は、に進みます [手順 3：パスワードを入力する](#)。有効な証明書がないストレージアレイがある場合は、自己署名証明書の解決ダイアログボックスが表示されます。に進みます [手順 2：検出時に信頼されていない証明書を解決する](#)。CA署名証明書をインポートする場合は、検出ダイアログをキャンセルしてに進みます "アレイの証明書をインポートします"。

手順 2：検出時に信頼されていない証明書を解決する

必要に応じて、証明書の問題を解決してから検出プロセスを開始する必要があります。

検出時に「信頼されていない証明書」のステータスが表示されるストレージアレイがある場合は、自己署名証明書の解決ダイアログボックスが表示されます。このダイアログで信頼されていない証明書を解決するか、CA証明書をインポートできます（を参照）"アレイの証明書をインポートします"）。

手順

1. [自己署名証明書の解決] ダイアログボックスが開いた場合は、信頼されていない証明書について表示される情報を確認します。詳細については、表の右端にある省略記号をクリックし、ポップアップメニューから「*表示*」を選択することもできます。
2. 次のいずれかを実行します。
 - 検出されたストレージアレイへの接続を信頼する場合は、* Next (次へ) をクリックし、Yes* (はい) をクリックして確認し、ウィザードの次のカードに進みます。自己署名証明書は信頼済みとしてマークされ、ストレージアレイがプラグインに追加されます。
 - ストレージアレイへの接続を信頼しない場合は、キャンセル*を選択し、各ストレージアレイのセキュリティ証明書戦略を検証してからプラグインに追加してください。

手順3：パスワードを入力する

検出の最後の手順として、管理ドメインに追加するストレージアレイのパスワードを入力する必要があります。

手順

1. 必要に応じて、アレイのグループを設定済みの場合、ドロップダウンを使用して検出されたアレイのグループを選択できます。
2. 検出された各アレイのadminパスワードをフィールドに入力します。
3. [完了] をクリックします。



指定したストレージアレイへの接続がシステムで確立されるまでに数分かかることがあります。

結果

ストレージアレイが管理ドメインに追加され、指定した場合は選択したグループに関連付けられます。



管理操作を実行する場合は、起動オプションを使用して、1つ以上のストレージアレイのブラウザベースのSystem Managerを開くことができます。

SANtricity Storage Plugin for vCenterでストレージアレイの名前を変更する

Storage Plugin for vCenterの [管理] ページに表示されるストレージアレイの名前を変更できます。

手順

1. Manage *ページで、ストレージ・アレイ名の左にあるチェックボックスを選択します。
2. 行の右端にある省略記号を選択し、ポップアップ・メニューから*ストレージ・アレイ名の変更*を選択します。

- 新しい名前を入力し、*保存*をクリックします。

vCenter向けSANtricityストレージプラグインでのストレージアレイのパスワードの変更

vCenter向けストレージプラグインでストレージアレイの表示とアクセスに使用するパスワードを更新できます。

作業を開始する前に

System Managerで設定されているストレージアレイの現在のパスワードを確認しておく必要があります。

このタスクについて

このタスクでは、プラグインでストレージアレイにアクセスできるようにストレージアレイの現在のパスワードを入力します。これは、System Managerでアレイのパスワードが変更された場合に必要になります。

手順

- [* Manage * (管理)]ページで、1つ以上のストレージ・アレイを選択します。
- [メニュー] : [一般的でないタスク][ストレージアレイのパスワードの入力]を選択します。
- 各ストレージアレイのパスワードを入力し、*保存*をクリックします。

vCenter向けSANtricity Storage Pluginでのストレージアレイの削除

ストレージプラグインfor vCenterでストレージアレイを管理する必要がなくなった場合は、削除することができます。

このタスクについて

削除すると、そのストレージアレイにはアクセスできなくなります。ただし、ブラウザでIPアドレスまたはホスト名を直接指定すれば、削除したストレージアレイへの接続を確立できます。

ストレージアレイを削除しても、ストレージアレイ自体やそのデータには影響はありません。ストレージアレイを誤って削除した場合は、再度追加することができます。

手順

- [* Manage * (管理)]ページで、削除する1つ以上のストレージ・アレイを選択します。
- メニューを選択します。一般的でないタスク[ストレージアレイの削除]。

ストレージアレイがプラグインインターフェイスのすべてのビューから削除されます。

vCenter向けSANtricityストレージプラグインからSystem Managerを起動

単一のアレイを管理するには、起動オプションを使用して、新しいブラウザウィンドウ

でSANtricity System Managerを開きます。

System Managerは、ストレージアレイのコントローラに組み込まれたアプリケーションであり、イーサネット管理ポートを介してネットワークに接続されます。System Managerにはアレイベースのすべての機能が含まれています。System Managerにアクセスするには、Webブラウザを使用してネットワーク管理クライアントにアウトオブバンド接続する必要があります。

手順

1. [* Manage * (管理)]ページで、管理する1つ以上のストレージ・アレイを選択します。
2. [* 起動 *] をクリックします。

ブラウザに新しいタブが開き、System Managerのログインページが表示されます。

3. ユーザー名とパスワードを入力し、*ログイン*をクリックします。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。